県立小川高校 «活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）»

課程	定時制	学科	普通科	R7.5.1 生徒数	(男) 16 (女) 30	計 46
アクセス	JR 八高線・東武東上線　小川町駅下車　徒歩３分					

＜目指す学校像＞

基礎学力を向上させ、豊かな心と自主的精神を育み、自己の可能性を伸ばす学校

＜教育課程等＞※１

・働きながら学ぶことのできる、普通科・男女共学の夜間定時制高校です。
・生徒の学ぶ意欲を大切にして、基礎基本に基づいたわかりやすい授業を行います。
・各学校行事や体験活動を通して、仲間とともに充実した学校生活を送ります。
・蔵書約６万冊を誇る県内有数の図書館があります。

＜本校が求める生徒＞※２

1　学校のルールをしっかり守ることができる生徒
2　目標に向かって、努力のできる生徒
3　積極的に学ぶ意欲のある生徒
4　地域や社会に関心を持ち、多様性を認め合う生徒

＜学校行事＞

・全日制と同日開催で実施する葦火祭（文化祭）
・焼き芋会（学校で育てたサツマイモ使用）やボウリング大会
・４年生で実施する修学旅行、春季と秋季に全学年で実施する校外学習
・学年の枠を超えて（色別団対抗戦）実施する体育祭（１０月）

＜部活動＞

バドミントン部（週３日程度活動）

＜家庭・地域との連携＞

・３者面談を年２回実施
・文化祭などの行事に保護者の参加
・小川町七夕祭りへの参加

進路	R７.３卒業生	四大	１人	短大	０人	専門	１人	就職	７人
	傾向	在学中の職場をそのまま継続する生徒、新たな職場を開拓する生徒、大学・短大・専門学校等の上級学校へ進学する生徒、進路先は様々です。本校で学び培った強い精神力と学習の成果を活かし、それぞれの分野へはばたきます。							

【学校教育法施行規則第１０３条の２】高等学校における三つの方針
裏面　育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）
※１　教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
※２　入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

県立小川高校定時制課程　～生徒の成長物語～

重点目標

1　分かる授業に向けた授業改善と個に応じた学習指導により、基礎学力の向上を図る。
2　基本的生活習慣の確立と個に応じた生徒指導・進路指導により、自立した自己の実現を図る。
3　開かれた学校として地域と連携し、学校行事と環境・体験学習の充実により、豊かな心を育む。

行事

◇　春の遠足では、クラスの仲間との交流を深めます。
◇　体育祭では、縦割りチームを編成し、一致団結したチームワークを披露します。
　保護者の方も競技に参加しています。

部活動

　週３日、バドミントン同好会が活動しています。

体験学習

　様々な体験学習を通して豊かな心を育成します。

さつま芋の収穫

人力車体験

ボウリング大会

１年生

◇　基本的生活習慣の確立と、学校生活の定着を図ります。
◇　４年後の自立を目指し、学習支援と就労支援を始めます。

２年生

◇　中間学年として、生徒会活動・委員会活動など積極的に参加します。
◇　学業と就労の両立を図り、学校での中心として活躍してもらいます。

３年生

◇　生徒会活動・委員会活動など学校の要として活躍してもらいます。
◇　卒業後の目標を具体化し、実現に向けて積極的に活動します。

４年生

◇　卒業後の目標実現に向けて、積極的に活動します。
◇　後輩の指導を含め、最上級生として学校に歴史を刻みます。

本校の教職員

　本校の教職員は、生徒一人一人に真剣に向き合い、きめ細かい指導を行っています。
　「頑張る生徒をとことん面倒見る。」を合言葉に、日々の教育活動に取り組んでいます。

４年後の目標

◇学習面　基礎学力の向上
◇進路面　生徒の自立実現
◇生活面　規律ある生活習慣の確立